

発行者 観 点	2 東書	4 大日本	207 文教	208 光文	224 学研
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	○「体の発育・発達」の単元における保健領域の目標を達成するための学習活動（第3、4学年）				
	<ul style="list-style-type: none"> 自分の身長の変化や発育の個人差について調べたり、体をよりよく発育させるための生活に向けて実行したいことを考えたりする活動 	<ul style="list-style-type: none"> 1年生から4年生までの自分の身長の変化を調べたり、思春期における体の変化について調べたりする活動 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の身長の変化や発育の仕方の違いについて調べたり、思春期における異性の友達との関わり方について考えたりする活動 	<ul style="list-style-type: none"> 思春期における男女の体の変化を比べたり、体をよりよく発育させるための生活の仕方について考えたりする活動 	<ul style="list-style-type: none"> 思春期に起こる体の変化や男女の違いについて調べたり、給食の献立を調べ、栄養のバランスについて考えたりする活動
	○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習活動（第5、6学年）				
	<ul style="list-style-type: none"> 課題を設定し、児童に見通しをもたせる 事例を基に危険と回避するための対策について考える 交通事故を防ぐための環境整備の例から工夫されていることについて話し合う 	<ul style="list-style-type: none"> 課題を設定し、児童に見通しをもたせる 事例を基に予測される危険や犯罪被害を防ぐための安全な行動について考える 犯罪被害を含めた安全マップを作成する 	<ul style="list-style-type: none"> 課題を設定し、児童に見通しをもたせる 不安や悩みを抱えたとき、誰にどのような相談をすることができるのかを考える 相談の仕方や受け方で大切なことを話し合う 	<ul style="list-style-type: none"> 課題を設定し、児童に見通しをもたせる むし歯や歯周病の起こり方について調べる むし歯を予防するために、今後の生活で気を付けることを考え記述する 	<ul style="list-style-type: none"> 課題を設定し、児童に見通しをもたせる 不安や悩みを抱えたときに自分で行えそうな対処について調べる 仲間との話合いの中で参考になった対処の方法を考え記述する
内容の構成・排列、分量等	○系統的・発展的に学習できるような工夫（第5、6学年）				
	<ul style="list-style-type: none"> 不安や悩みへの対処の学習後、相手に自分の気持ちや考えを上手に伝える活動を位置付ける 	<ul style="list-style-type: none"> 生活の仕方と病気の予防の学習後、がんと生活習慣のかかわりについて考える活動を位置付ける 	<ul style="list-style-type: none"> 喫煙の害について学習後、たばこを勧められたときの対処を考える活動を位置付ける ※飲酒や薬物の学習も同様 	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故の防止の学習後、安全な行動の仕方について考える活動を位置付ける ※犯罪被害の防止の学習も同様 	<ul style="list-style-type: none"> 不安や悩みへの対処の学習後、体と心をリラックスさせる体験的な活動を位置付ける
	○内容の分量				
	<ul style="list-style-type: none"> 第3,4学年 45ページ（約55%増） A4判 第5,6学年 81ページ（約59%増） A4判 	<ul style="list-style-type: none"> 第3,4学年 37ページ（約27%増） A4判 第5,6学年 57ページ（約16%増） A4判 	<ul style="list-style-type: none"> 第3,4学年 33ページ（約32%増） A4判 第5,6学年 53ページ（約17%増） A4判 	<ul style="list-style-type: none"> 第3,4学年 41ページ（約41%増） A4判 第5,6学年 65ページ（約33%増） A4判 	<ul style="list-style-type: none"> 第3,4学年 37ページ（約12%増） A4判 第5,6学年 57ページ（約8%増） A4判

使用上の配慮等	○学習意欲を高める工夫				
	(全学年) ・各項目末に学習内容と関連のある資料を掲載 (全学年) ・学習に関連するデジタル教材の充実	(全学年) ・児童が単元の学習課題に気付くことができる「学習ゲーム」を掲載 (全学年) ・学習に関連するデジタル教材の充実	(全学年) ・学習に関連する資料やホームページのアドレスを掲載 (全学年) ・児童向けの豆知識を脚注に掲載	(全学年) ・単元のはじめに、単元で学習する内容をストーリー形式で提示 (全学年) ・学習に関連するウェブサイトの情報を掲載	(全学年) ・単元のはじめに学習内容や児童がもつ疑問の例を提示 (全学年) ・学習に関連するウェブサイトの情報を掲載
	○主体的に学習に取り組む工夫				
(全学年) ・単元のはじめに単元の目標や学習内容を提示 ・課題の解決に結び付く視点などをキャラクターの吹き出しで提示	(全学年) ・学習の流れを示した教科書の使い方を掲載 ・課題の解決に結び付くヒントなどをキャラクターの吹き出しで提示	(全学年) ・学習内容に応じて「考えてみよう」や「調べてみよう」などの学習方法を提示 ・課題解決の視点等をキャラクターの吹き出しで提示	(全学年) ・考えを広げるための視点などをキャラクターの吹き出しで提示 ・学習内容の理解を深める科学的な資料を掲載	(全学年) ・教科書のはじめに学習の進め方を掲載 ・学習内容に関連する職業に携わる人や専門家による解説を掲載	
○使用上の便宜					
(第3, 4, 6学年) ・健康についての考えや様子の変化を確認できるチェック表を掲載 (全学年) ・ユニバーサルデザインフォントを使用	(第3学年) ・健康や安全と自分の夢や目標とのつながりを伝えるページを掲載 (全学年) ・ユニバーサルデザインフォントを使用	(全学年) ・知ってほしい情報を「もっと知りたい」などのコーナーとして掲載 (全学年) ・ユニバーサルデザイン等の観点から書体や文字の大きさを工夫	(全学年) ・単元ごとに学習内容の確認や振り返りができる「学習のまとめ」を掲載 (全学年) ・基礎的・基本的事項は太字や色文字を使用	(全学年) ・単元ごとに学習の振り返りや学びを生かした取組ができる「ふり返る・深める・つなげる」を掲載 (全学年) ・ユニバーサルデザインフォントを使用	
指導上の配慮等	○地域素材（北海道及び旭川市）				
	・「学校や地域でのけがの防止」で地下鉄のホームドアの写真を掲載（札幌市） ・「交通事故の防止」で道路の除雪の様子を写真で掲載（札幌市）	・特になし	・発展的な学習内容として、自然災害の大雪の様子を写真掲載	・巻頭ページに北海道出身のパランピアンに関するメッセージを掲載	・「犯罪から身を守るために」で子ども110番の写真を掲載（札幌市） ・「喫煙の害」で禁煙制限区域のステッカーを写真で掲載（札幌市）
○ICTの活用					
・マークやQRコードを掲載し、児童の理解度を高めることをねらいとした動画などの無料のデジタルコンテンツを活用できる工夫	・児童の理解度を高めることをねらいとした動画などの無料のデジタルコンテンツを工夫	・QRコード掲載し、学習内容に関連するホームページにアクセスできる工夫	・QRコードを掲載し、関連動画やコンテンツが気軽に見ることができる工夫	・マークやQRコードを掲載し、インターネットやデジタル教材で学習を広げたり、深めたりできる工夫	

	○小・中連携				
	<ul style="list-style-type: none"> 資料ページを設定し、「ストレス」や「自転車安全利用五則」、「熱中症の予防と手当」「胸骨圧迫とAED」などの発展的な学習内容を掲載 	<ul style="list-style-type: none"> 星のマークで発展的な学習内容が示され、「中学校〇年で学習します。」と具体的に提示 	<ul style="list-style-type: none"> 特になし 	<ul style="list-style-type: none"> 「自転車に安全に乗るために」、「熱中症について」、「心肺蘇生法」などの発展的な学習内容を掲載 	<ul style="list-style-type: none"> 「がん教育」、「医薬品の正しい使い方」などの発展的な学習内容を掲載
本市児童の学習の状況等	○根拠を明確にして説明する能力の育成				
	<ul style="list-style-type: none"> 終末に振り返る学習活動を位置付け、学習したことを基に、さらに考えたり、意見やその理由を相互に表現したりする活動場面を充実 	<ul style="list-style-type: none"> 最後に自分の考えを記入することができるように工夫 	<ul style="list-style-type: none"> イラストの吹き出しがあり、子どもの理解度に応じた記述の手助けをする工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合っって考える活動や自分の考えを他者に伝えたり、説明したりする活動を豊富に取り入れる工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 比べる、確かめる、話し合う（表現する）などの活動を設定し、思考・判断・表現する能力を育む学習となるよう工夫
	○学んだことを日常生活に生かす能力の育成				
	<ul style="list-style-type: none"> 導入場面において児童の生活場面を想起させるとともに、学習したことを実生活で生かすことができる学習活動を設定 	<ul style="list-style-type: none"> 日常的な事柄や地域のことを扱い、日常生活に課題意識をもち、解決させようとする工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動を3段階に分け、調べることを通して自分の考えをもち、日常生活の課題に結びつけるようとする工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が自分の生活を振り返って健康課題に気づき、終末では、学習したことを実生活や実社会で生かす実践力を養う活動場面を設定 	<ul style="list-style-type: none"> 各項目末の「まとめる・深める」や章末の「振り返る・深める・つなげる」で生活への活用を促す工夫
	○新たな健康課題に対する正しい理解				
	<ul style="list-style-type: none"> 「がん」、「パソコンやスマートフォンと健康」など、今日的な健康課題に対応した情報を掲載 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい健康課題を提示し、表やグラフ、写真や説明を交えて、正しく理解させる工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 「発展」の学習の中に、現代的な問題であったり、日常的な課題であったりするものを取り入れる工夫 	<ul style="list-style-type: none"> 「食事の取り方」、「スクリーンタイム」、「性についての悩み」など今日的な課題を取り上げる工夫 	<ul style="list-style-type: none"> がん教育、心の教育（いじめ）について取り上げ、正しい理解を深めるよう配慮

